



# ハヤブサ

ニュース No.63

絶滅危惧種  
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

## 韓国・THAAD配備の撤回を！

民衆の現場での闘いに連帯を 池田高巖

韓国の星州郡ソソン里では、米軍のTHAAD（終末高高度ミサイル防衛）システムの撤去を求める闘いが続いています。THAADはXバンドレーダーと迎撃ミサイルからなり、同じレーダーが配備されているということで京都連絡会としても、韓国で問題が浮上した当初から住民たちの闘いに注目し、連帯してきました。

### 連日続く搬入阻止闘争

2017年にTHAADが強行配備されて以降も、現地住民と支援者はTHAAD基地に至る道路での座り込みを続けて関連資材の陸路での追加搬入を阻止してきました。このため、米軍は基地への移動さえ空路を使わざるをえない状況が続いてきました。

しかしこのかん、THAAD関連資材の強行搬入が繰り返し行われています。資料によれば、今年に入ってすでに26回行われたということです（7月末の時点で）。およそ平均週二回の強行搬入が行われている計算になり、とりわけそれは今年5月の米韓首脳会談以降、顕著になっています。米韓首脳会談は朝鮮半島情勢をめぐる米朝・南北の対話の可能性をかるうじて残すものでしたが、その一方でTHAADをめぐるのは、現在の「暫定配備」から「正式配備」への転換を認めるような取引が米韓両首脳の間であったことを伺わせます。

ソソン里では毎回、動員された1000名ほどの警官が周囲を威圧するなかで強行搬入が行われていますが、住民たちは体を張った毅然とした抵抗を続けています。

## 健康被害に懸念が広がる

同時に、韓国のTHAAD配備をめぐるのは、このかん新たに健康被害の問題がクローズアップされてきました。レーダー前面下方にある金泉市のノゴンニという人口100人ほどの集落で、Xバンドレーダーの運用開始以降、がん患者が9人発生しているという問題です。住民たちはレーダーが発する電磁波との関係を強く疑っており、不安を高めています。その他にもミツバチの死亡・減少やその結果による栽培している果物の収穫量の減少も報告されています。また、ヘリコプターの騒音による健康被害もあるようです。

これらの健康被害とレーダーの電磁波の因果関係を科学的に証明することは難しいですが、Xバンドレーダーが発する電磁波そのものが人体に有害な影響を与えること自体は米軍も認めています。問題なのは、レーダーの出力がどのくらいで、どのような角度でどのようなモードで動作しているかなど、評価に必要な情報が「軍事機密」として公表されていないことです。このため住民の不安は増幅しています。

## 闘いへの連帯を

韓国・ソソン里でのTHAAD配備は、京丹後の米軍Xバンドレーダー基地と同様に、東アジアの政治的・軍事的緊張を高める要因のひとつになってきました。韓国でのTHAAD撤去闘争への連帯を広げつつ、Xバンドレーダー基地撤去の闘いを進めていきましょう。



## 8～9月の京丹後訪問の ご案内

### 京丹後訪問日程

8月30日（月）

9月21日（火） 9月28日（火）

集合 いずれも午前8時30分

五条大橋西詰ガソリンスタンド前

\* 参加を希望される方は事前に連絡を  
お願いします。 池田(090-7108-5508)

さる8月9日、台風9号の影響で京丹後は観測史上最大の暴風に見舞われ、その影響で米軍基地と自衛隊基地に挟まれた九品寺（穴文殊）の巨大な老松が一本へし折られてしまったとのこと。自然の威力を感じさせませんが、地元の永井友昭さんの報告によれば、それより先に今年に入って、「自衛隊の建物の邪魔になる」ということで切られてしまった老松もあるということです。その結果、風当たりがきつくなったことが今回の倒木の原因ではないかと永井さんは指摘しています。穴文殊の参道の黒松は「京都の自然100選」に指定されていますが、実際、周辺の風景は米軍基地建設の以前とはかなり大きく異なるものになってしまいました。

基地をめぐるのは、米軍人の基地内への入居が今夏後半とされてきましたが、それは遅れているようです。また、「交通安全確保」を理由に基地への進入路をつくることを理由に防衛省が取得して米軍に提供した「三角地」も更地にされたままで、ただ単に基地用地が拡張されただけという状態になっています。他方、先の日米合同軍事演習オリエントシールドの実施に見られるように、基地の強化と要塞化、日米軍事一体化は宇川でも着実に進んでいます。地元の方々との対話を通して、それに対する抵抗を宇川と京都を結んでつくりだし、広げていきたいと思えます。

コロナ禍に加え不安定な天候が続いていま

すが、体調に配慮いただき、無理のない形での参加をお願いいたします。  
(池田高巖)



## 8月3日 彦根での反弾圧抗議行動 (報告)

(文責: 瀧川)

労働組合つぶしの  
大弾圧を許さない！  
京滋実行委員会の呼  
びかけで、8月3日、  
彦根市での情宣活動  
と彦根警察署への抗  
議行動が行われまし



た。彦根市での行動は、関西生コン支部弾圧を指揮した“セクハラ警視”が彦根署長になっているからです。

この弾圧は労働組合を暴力団扱いし、当たり前前の活動を刑事事件に仕立て上げ、捜査においても労働組合からの脱退を強要する「不当労働行為」や人権無視の長期拘留など無法ぶりが指摘されています。(彦根警察署前抗議行動)

この不当弾圧を指揮したのが今春、彦根警察署長に就任した羽田賢一警視です。

羽田警視は警察庁に出向中(2014年3月から)の同僚女性へのセクハラが問題になっています。「女を出せ。女らしゅうしとったらいねん」などと何度も羽田警視から言われた女性は抑うつ状態になり、警察庁が17年3月に公務災害と認定しています。被害女性は18年4月には羽田警視に対し損害賠償訴訟を東京地裁に提訴しました(朝日新聞21.4.17)。

2016年春に警察庁から滋賀県警に帰任後、県警の組織犯罪対策課長(広域暴力団対策!)などを務め、2018年夏からの関西生コン支部への不当弾圧を行った。

そもそも、憲法28条で認められている労働基本権や労組法で刑事罰免責があるにもかかわらず、労働組合活動を刑事事件に仕立て上げてきたのが、セクハラ警視で、それを論功行賞(?)なのか彦根署長に据える滋賀県警一警察庁、許せるものではありません。

当日は大雨であったにもかかわらず、大阪や東海の会からも駆けつけていただき、27名が参加されました。行動開始の10:30には雨も上がり彦根署や駅周辺のポスティング、11:30には彦根署前に集まり抗議行動を行いました。8月22日には膳所のオーミ前で署名チラシ配布行動を予定しています。皆さんの参加を呼びかけます。

## これは許してはならない!

### 土地規制法(私権制限と弾圧立法)に 続いて「安全保障に資する条件が付 けられた沖縄振興(提言)」 大湾 宗則

#### 辺野古の闘い・沖縄は政府に包囲されている!

日本における反戦・平和・反基地・反安保・改憲阻止の拠点(砦)は戦後一貫して沖縄であり、沖縄民衆が担ってきた。

この沖縄の人々の闘いが今、政府国家権力によって包囲され、屈服を強要されている。

現在沖縄の闘いは、基地被害のすべてに抗して繰り広げられている。

PFOS・PFOA など泡消火材の基地から住民居住地への流失、河川、地下水への浸透などに対して住民や議会が基地立ち入り調査を要求、オスプレイや戦闘機、外来機を含めた早朝深夜に及ぶ訓練と騒音問題に対しても抗議と中止の決議を突き付けている。軍用機の部品落下が後を絶たず、人々の命とくらしが恐怖にさらされ、抗議の声が高まっている。

政府防衛省は、大浦湾の軟弱地盤を埋め立てるに沖縄戦被害者の人骨が混じる南部戦跡の土砂を使うという許しがたい申請を県にしている。具志堅さんのハンガースト、沖縄市町村議会の反対決議が挙げられている。

更に沖縄防衛局は、沖縄県の行政指導を無視してサンゴを接着剤で石に張り付け移植した事実を県を挙げて怒りが高まっている。

沖縄の民意は、選挙だろうが住民投票だろうが世論調査だろうが全てにおいて辺野古新基地建設に No! が示されているが政府は無視している。日本国民の関心も盛り上がっていないことが政府の傲慢を許している。

#### I 土地規制法(ハヤブサNo. 62 参照)

#### II 沖縄振興開発特別措置法の見直し案 「新たな沖縄振興に向けて(提言)」は 許しがたい趣旨

沖縄振興開発特別措置法の目的は、第一条で「この法律は沖縄の置かれた特殊な諸事情に鑑み、沖縄振興基本方針と振興基本計画に基づき特別措置を講ずることによって沖縄の自主性を尊重し、その総合的計画的な振興を図り以て沖

縄の自立的発展に資するとともに沖縄の豊かな住民生活の実現に寄与することを目的とする」とある。また、第一次沖縄離島振興計画においても「望ましい地域社会を実現することを目的とする」とあるだけである。沖縄振興開発特別措置法にも沖縄離島振興計画にも「日米安全保障に資する」という文言はない。

しかし、「新たな沖縄振興に向けて(提言)」には、「(沖縄県の)たゆまぬ努力こそが…これまで以上に沖縄振興に対する国民の理解と共感を得ることにつながる」と考えるからであると述べている。

さらに「(沖縄県が)21世紀の万国津梁として多くの国や地域と交流する懸け橋となることは、わが国社会に一層多様性と国際性を与えるとともに、いわゆる総合的な安全保障としてアジア太平洋地域の安定に資すると考える」と。

つづいて沖縄の離島に関しては「特に近年、我が国を取り巻く安全保障関係環境が厳しさを増す中、沖縄の離島が果たす(安全保障に資する)役割は従来以上に重要になっている」と結論づけている。

#### 「新たな沖縄振興に向けて(提言)」を読まれて 誰もが驚かれたことでしょう。

第一点は、沖縄県のたゆまぬ努力がなければ沖縄振興に投ぜられている予算について国民の理解が得られない、得られるように励めと叱咤激励しつつ、その励む中身としてこれまでの振興計画にはなかった「総合的な安全保障としてアジア太平洋地域の安定に資する」政府の施策に協力せよ、また離党についても「沖縄の離島が果たす(安全保障に資する)役割は従来以上に重要になっている」ことを認めよと踏み込んでいる。

ここでは二つの点で批判する。一つは、沖縄振興計画や沖縄振興開発特別措置法の設置目的が「沖縄の置かれた特殊な諸事情に鑑み」とあり、ここには明治以来の琉球処分(琉球侵略・植民地化・併合して同化政策)、更に本土防衛の名による持久戦で沖縄住民を死地に追い込み、敗戦後は米軍の施政権下に分離し、復帰後は日米安保条約で米軍基地の75%を沖縄に押し付け、その米軍基地被害を強制した。

日本政府は、これら歴史的で現実的な沖縄に対する差別的な施策を続けていることを謝罪もせず、わずか12語の「沖縄の特殊な諸事情に鑑み」で表現し、恩着せがましく「沖縄振興」

を持ち出すこの国・政府の傲慢さと醜さ、厚顔無恥を徹底して弾劾せざるを得ない。

次にこれまでの沖縄振興策では「沖縄の自主性を尊重し、沖縄の自立的発展に資する」とあり、また、離島振興計画においても「望まして地域社会を実現することを目的とする」とあったものが、今回の改定案(提言)では「安全保障に資する」ことが条件となっている。

そしてこれまでの沖縄振興特別措置法が 10 年の期限だったものが期限を削除している。

**この「新たな沖縄振興に向けて(提言)」の狙いとは何か?** それは沖縄県政が政府の国策に「総合的な安全保障としてアジア太平洋地域の安定に資する」よう協力すること、「沖縄の離島もまた(安全保障に資する)役割を従来以上に果たすように」と強制している。

このことは、この「新たな沖縄振興に向けて(提言)」の趣旨が、沖縄振興開発特別措置法に書き込まれたなら沖縄県は政府の安全保障上の国策に有無をいわず賛成しなければならず、それを拒否するなら期限のない「特別措置法」を打ち切ると脅され、県民自ら知事を引きずり下ろす仕組みを作るという謀略が隠されている。

辺野古新基地建設は「国の安全保障上重要」ということで反対闘争を知事はやめさせなければならず、日米安保条約にかかわるすべての政府の施策に従わなければならなくなる。

既に 2008 年には「宇宙基本法」に「わが国の安全保障に資する」と書き込まれ、更に 2012 年 6 月の「宇宙航空研究開発機構(JAXA)法」から「平和目的に限る」を削除している。

2012 年には「原子力規制委員会設置法」の付則に「わが国の安全保障に資する」と書き込まれ「原子力基本法」が改悪された。

米軍のみならず自衛隊に対しても法と憲法を無視して特権が与えられ、今や国の安全保障は、「聖域」であり、「不可侵」であると政府は宣言している。原子力も宇宙も今は戦場に化している。この「ハヤブサNo. 63」が発行される(8/19)前後には、沖縄県による防衛省への辺野古新基地建設に関する「設計変更申請」を不承認とする段階に至っている。沖縄県が「設計変更不承認」を断行した際には、「辺野古埋め立て反対京都実行委員会」が呼び掛ける京都タワー前での「不承認支持」の街頭行動に是非とも参加をお願いします。

## 「京都連絡会」8月例会

非正規雇用労働者の現状と闘いの組織化

(搾取に抗する賃金闘争と産別労組の組織化の展望)

反戦・反基地闘争の発展には労働者の参加が不可欠です。  
非正規雇用労働者の実態を理解し仲間になるための学習会。

日時 8月26日(木) 18:30

会場 ひとまち交流会館 第三会議室

講師 服部恭子さん(京都ユニオン書記長)

## 「街なかビラ」の報告と 京都連絡会 8月例会 今後のお知らせ

※ 7/15 (木) の百万遍は雨で中止しました。

第123回 7月27日(火) 京阪「藤ノ森」9人



### ＜参加者の感想＞

- 人通りは多くないが、ビラの受け取りはいい。
- ここは、高校生や中学生も受け取って貰える。

### ＜街の人の声＞

●米軍基地は必要だ。日本を守ってくれる。●友達がここ(自衛隊基地)で働いている。●京都に米軍基地があるとは知らなかった。●(中学生・男)勉強になります。ありがとう。●(〇〇女学院で)小・中・高の職員室に届けるからと受け取って貰えた。

第124回 8月9日(月・休) 堀川三条 7人

### ＜街の人の声＞

●基地がなかったら子どもたちが戦争に行かんならん。●米軍基地があつていいことだ。訳の分からん国が攻めてくる。●若い子がかっこよく頑張らんとね。  
＜参加者の感想＞●台風9号接近で雨が降り出したが、アーケードのある商店街だったので予定通り実施。人通りは少なく観光客らしい人が目立ちました

### 今後の予定

第125回 8月24日(火) 千本中立売 周辺  
集合場所: 市バス「千本中立売」停留所

第126回 9月10日(金) JR「円町」周辺  
集合場所: JR円町駅前

第127回 9月27日(月) 竹田久保町 周辺  
集合場所: 「竹田久保町」交差点の西南角  
時間はいずれも 11:00 ~ 12:00 です

ご都合の付く方は、集合場所にお集まりください  
連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)